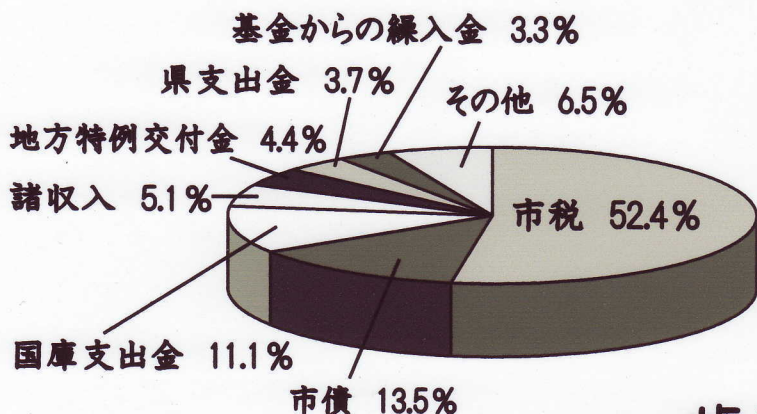
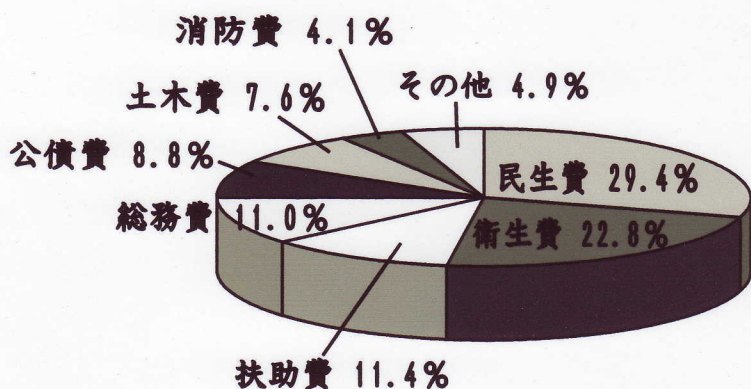


21年度予算は上記の通り、昨年に引き続き1000億を超える規模となり、この不況にもかかわらず、昨年比2.2%増となっています。しかも、今回の予算は市長選挙直後だったこともあり、今予算は必要最小限度の経費を計上するに止め、6月に補正予算を組んで肉付けを図る市長方針も示されました。



### 歳入

歳入は、個人市民税こそ微増の見込みですが、景気の悪化等から法人市民税は昨年度比約34%の減収を見込んでいます。市債は昨年度比20.3%増、繰入金は、財政調整基金等を取り崩し、昨年比約70%増となっています。地方交付税の内の普通交付税は、今年度も、川越市は税収が十分あるとして交付されない不交付団体となっており、地方特例交付金のみ交付されています。



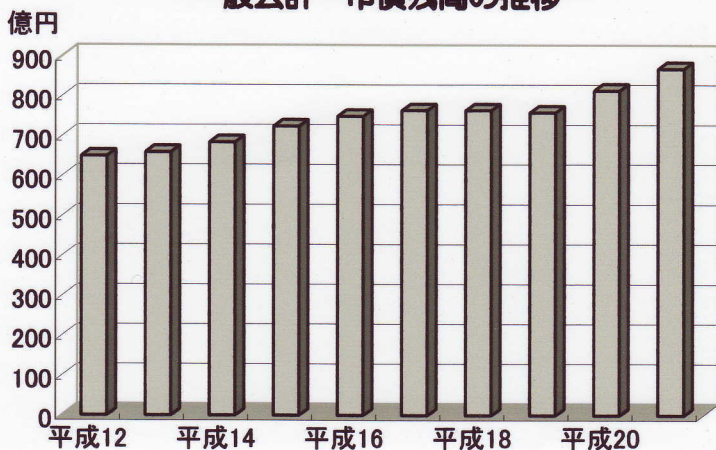
### 歳出

歳出は、生活保護費等の大幅な増加が見込まれる扶助費が昨年度比8.6%増、継続事業が最終年度を迎える新清掃工場の建設費や、団塊世代職員の大量退職に伴う退職手当など、前年度にも増して厳しい財政状況の中、財政調整基金等の積立基金を活用し必要な財源を確保しています。



#### \* 参考1

#### 一般会計 市債残高の推移



#### \* 参考2

財政規模			
一般会計	1,023億2000万円	前年度当初予算対比	2.2%増
特別会計	683億7,819万9,000円	//	0.1%減
総額	1,706億9,819万9,000円	//	1.2%増

#### 注目事業ピックアップ

- \* 妊婦健康診査費用助成5回→14回
- \* 中高・小中一貫教育の調査研究
- \* 障害者相談支援事業→相談員増員
- \* 緊急地域雇用対策事業
- \* 新斎場建設事業（調査研究）
- \* 住宅用太陽光発電パネル設置費補助
- \* 合併浄化槽設置事業補助